

BCGワクチン定期予防接種のご案内

予防接種法に基づく定期予防接種を実施します。予防接種はお子さんを病気から守るため、また周りへの感染症の拡大を防ぐために必要なものです。予防接種の目的や内容をよく理解した上で、お子さんの体調の良いときに受けましょう。

- 1 対象年齢** 1歳の誕生日の前日まで
- 2 標準的な接種期間** 生後5か月～8か月
- 3 接種回数・方法** 1回（腕に2回スタンプを押し付けて接種します）
- 4 接種場所** 別紙「予防接種協力医療機関」のBCGの欄に○のある医療機関
※医療機関に予約をしてから接種をしてください。
- 5 持ち物** 予防接種予診票（伊那市発行のもの）・母子健康手帳
- 6 費用** 無料（公費負担）※対象年齢を過ぎると実費になります。



裏面をご覧ください

7 結核ってどんな病気？

結核は、結核菌の空気感染（飛沫核感染）により感染します。今でも毎年2万人前後の人が発症しています。発症者の約7割は60歳以上の高齢者ですが、小児や若年者の結核も見られます。早期に発見すれば化学療法で治すことができますが、治療には6ヵ月以上もかかってしまう厄介な感染症です。

乳幼児期に発病すると結核性髄膜炎や粟粒結核などの重篤な結核になることがあるため、これを防ぐために、生後1歳までに予防接種を受けることとなっています。

8 予防接種の効果

- ・ 結核の発病を、接種をしなかった場合の4分の1程度に抑えます。
- ・ 小児の重篤な結核（結核性髄膜炎など）の発病の予防には特に効果があります。
- ・ 一度接種すればその効果は10年～15年程度持続します。

9 接種上の注意事項

- ・ 接種部に外傷等によるケロイド（赤くもりあがった傷跡等）のある方は、接種できません。
- ・ 結核患者との接触が過去にある場合は医師とご相談ください。
- ・ 接種後は、日陰で自然に乾燥させてから衣服を着せてください。
- ・ 当日の入浴は差し支えありませんが、接種部位はこすらないでください。

10 接種後の経過

10日頃～	針痕部に赤いポツポツができます。一部に小さいうみができることもあります。
1ヶ月頃	赤いポツポツが最も強くなります。
3ヶ月頃	かさぶたができて治ります。

- ・ 接種後の経過は個人差があります。
- ・ 赤いポツポツや針痕のじくじくは自然に治るので、接種部位に包帯をしたりバンソウコウを貼ったりせず、そのまま清潔に保ってください。
- ・ コッホ現象が出現した場合は、すでに結核に感染している可能性があります。速やかに医師の診察を受け、伊那市役所健康推進課予防係までご連絡ください。

※コッホ現象とは

『接種後の経過』の反応とは違い、接種後1～10日以内に接種局所の明らかな発赤、しこり、針痕部位の化膿が起こり、通常2週間から4週間後に発赤なども消えて治っていく一連の反応のことをいいます。

11 ワクチンの副反応

- ・ 接種した側の脇の下のリンパ節が腫れることがあります。通常は数か月で徐々に縮小していきます。ごくまれに、肥大したリンパ節が化膿し排膿することがあります。
- ・ 強い反応があった場合、後にケロイドになることもあります。
- ・ 接種部位が化膿して自然にやぶれてうみがでている場合、3ヶ月を過ぎてもじくじくして治らない場合、いったん乾燥したが再度炎症の反応が見られる場合は医師の診察を受けてください。
- ・ ごくまれにショック、アナフィラキシー様症状（血管浮腫・呼吸困難・じんましん等）がみられることがあります。極めてまれです。（令和7年1月第105回厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会副反応検討部会資料より）

R7.4.1

<お問合せ先> 伊那市役所健康推進課予防係 電話0265-78-4111 内線2332